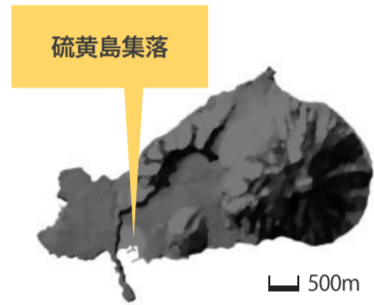




12



硫黄島地区四〇代女性

「ホテルがあった子供の頃に、硫黄岳の麓で孔雀の卵を見つけて、持ち帰って寝る時に布団で温めました。三日温めても孵らず、あきらめて犬にあげてしまいました。」

思い出話

「\*」資料は『月刊浜名湖』と記された刊行物。誌面の一部複製があるのみで資料の詳細は不明。

孔雀は、いまま観光客を喜ばせる一方で、集落では作物の芽を食べ方々で糞をするため、住民とは距離のある共存をしている。【写真右下】は畑の鳥除けに絡まった孔雀。

硫黄島には野生のインド孔雀が生息する。これらは一七七四年〜八二年まであったホテルで飼われた孔雀の末裔となる。当時の資料【\*】には、一〇〇羽が三〇〇羽に繁殖、パンくずで餌付け、白孔雀は一羽のみ、など記されている。現在、孔雀は集落と近隣の椿畑、牧場でよく目撃される。数は約三〇羽。白孔雀も親子で二羽いる。ねぐらは、おもに熊野神社と安徳天皇陵の松や牧場の木。餌は、虫、植物の種子や芽、とかげなど。

硫黄島

インド孔雀

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
旧 10/17	旧 10/18	旧 10/19	旧 10/20	旧 10/21	旧 10/22	旧 10/23
6	7	8  下弦	9	10	11	12
旧 10/24	旧 10/25	旧 10/26	旧 10/27	旧 10/28	旧 10/29	旧 10/30
13	14	15  新月	16	17	18	19
旧 11/1	旧 11/2	旧 11/3	旧 11/4	旧 11/5	旧 11/6	旧 11/7
20	21	22  上弦	23	24	25	26
旧 11/8	旧 11/9	旧 11/10	旧 11/11	旧 11/12	旧 11/13	旧 11/14
27	28	29	30  満月	31	1	2
旧 11/15	旧 11/16	旧 11/17				